

2020年12月期 決算説明会

説明者 常務取締役 入澤 広之

2021年2月9日



群馬銀行レポート2020
統合報告書



東証第1部:8334

目次

1. 損益状況	P. 1
2. 貸出金の状況	P. 2
3. 非金利業務利益の状況	P. 3
4. 有価証券の状況	P. 4
5. 与信費用の状況	P. 5



1. 損益状況

コア業務純益は前年同期比+3億円、計画進捗率82%。

■ 連結

	No.	第3Q 19/12期	第3Q 20/12期	前年 同期比	計画 進捗率	年間計画 21/3期
コア業務粗利益	1	664	651	▲ 12	75.7%	861
うち非金利業務利益	2	124	133	8	70.0%	191
経常利益	3	307	252	▲ 54	88.6%	285
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	4	219	184	▲ 34	90.0%	205

（単位：億円）

■ ポイント

【連結】

- 非金利業務利益は前年同期比+8億円、計画進捗率70% ⇒ 3頁
- 最終利益は184億円、計画進捗率90%

【単体】

- コア業務粗利益は計画進捗率77%と順調
 - ・資金利益は前年同期比▲9億円
 - [国内部門] ▲22億円
 - ⇒主因は有価証券利息配当金▲21億円
 - [国際部門] +12億円
 - ⇒調達の減少と香港現法清算配当11億円
 - ・非金利業務利益は前年同期比+4億円
- 経費は物件費削減を主因に前年同期比▲9億円
- 以上の結果、コア業務純益は前年同期比+3億円、計画進捗率は82%。
- 有価証券関係損益は106億円 ⇒ 4頁
 - ・債券関係損益 28億円
 - ・株式等関係損益 78億円
 - ⇒（政策投資36億円、純投資42億円）
- 与信費用は大口先のランクダウンを主因に65億円 ⇒ 5頁
（1Q:54億円、2Q:5億円、3Q:6億円）

■ 単体

	No.	第3Q 19/12期	第3Q 20/12期	前年 同期比	計画 進捗率	年間計画 21/3期
コア業務粗利益	1	618	612	▲ 5	76.9%	796
資金利益	2	540	530	▲ 9	78.8%	672
うち投信解約損益	3	13	14	1	110.5%	13
非金利業務利益	4	78	82	4	66.4%	123
役務取引等利益	5	72	77	4	68.0%	113
その他業務利益	6	5	4	▲ 0	48.9%	10
経費	7	416	406	▲ 9	74.4%	546
コア業務純益	8	202	205	3	82.3%	250
投信解約損益除き	9	188	191	2	80.8%	237
有価証券関係損益	10	82	106	24	92.0%	116
与信費用	11	23	65	41	66.5%	99
その他	12	▲ 1	▲ 14	▲ 13	-	▲ 18
うち退職給付費用	13	▲ 1	▲ 14	▲ 13	-	▲ 19
経常利益	14	259	232	▲ 27	92.9%	250
法人税等	15	71	59	▲ 11	85.3%	70
当期（四半期）純利益	16	184	173	▲ 10	96.6%	180

（単位：億円）

2. 貸出金の状況

中小企業はコロナ対応資金に積極対応
住宅ローンは群馬県内推進体制を強化

■ 貸出金の内訳

(単位: 億円)

	20/3末	20/12末	20/3末比	
			増減額	増減率
貸出金	56,023	57,733	1,710	3.0
リテール	45,505	46,384	879	1.9
中小企業(*1)	22,358	23,280	922	4.1
個人	23,147	23,103	▲43	▲0.1
うち住宅ローン	13,124	13,224	99	0.7
うちアパートローン	6,514	6,479	▲35	▲0.5
うち無担保ローン	546	540	▲6	▲1.1
その他	9,123	9,168	45	0.5
クロスボーダー	1,053	919	▲133	▲12.6
ストラクチャードファイナンス	180	209	29	16.5
国内大・中堅企業	6,619	6,792	173	2.6
その他(*2)	1,270	1,246	▲24	▲1.9
海外店	542	505	▲37	▲6.8
公共	851	1,676	825	96.9

※「中小企業」(*1)には地方公社、東京支店・大阪支店勘定を含めず、その他(*2)に区分。

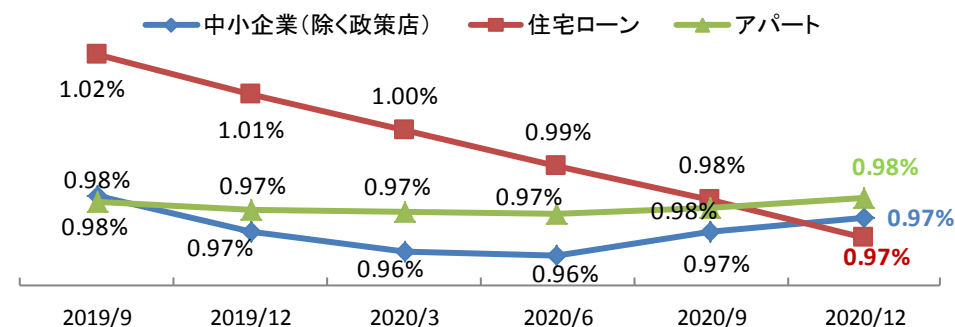
■ 新型コロナウイルス関連融資申込状況

(1月28日現在)

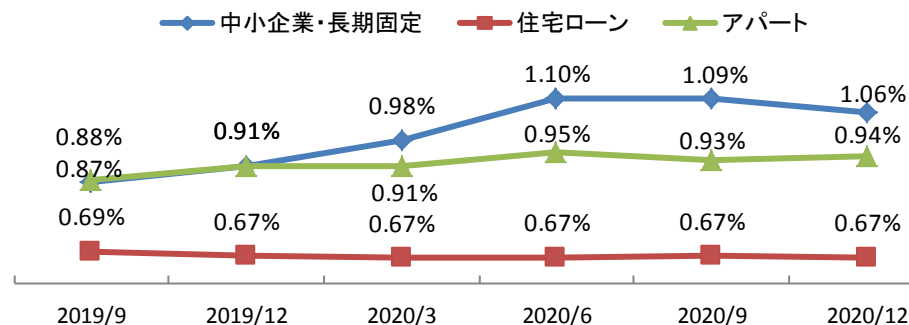
相談		案件 受付済	融資実行	
新規 融資	17,687先	9,692先	融資件数・金額	12,503件 3,463億円
			プロパー	844件 1,064億円
			保証協会	11,659件 2,399億円
条件 変更	652先	870先	融資件数・金額	3,123件 1,035億円
			プロパー	1,708件 835億円
			保証協会	1,415件 200億円

※条件変更の実行件数は対象債権の件数で集計。

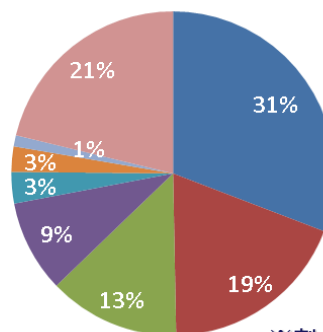
■ 貸出金利回(国内)の推移



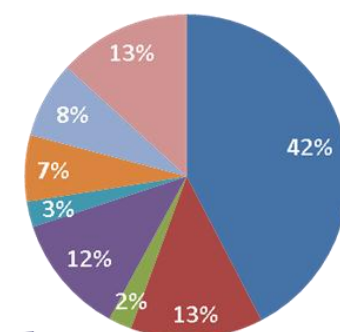
■ 新規実行金利の推移



新規実行割合



条件変更割合



※割合は金額ベース

Innovation 新次元

3. 非金利業務利益の状況

非金利業務利益は前年同期比8億円増加。
ぐんぎん証券が牽引。

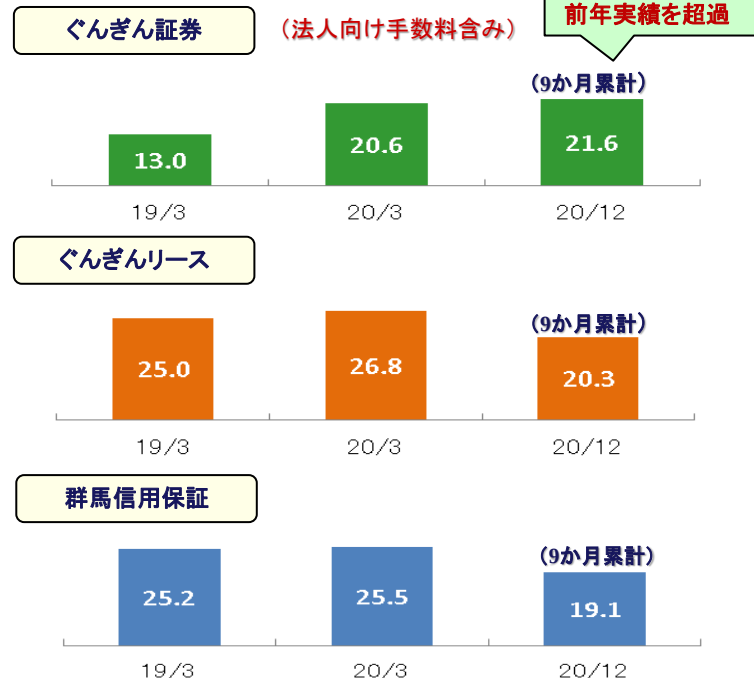
■ 非金利業務利益(連結)

(単位:億円)

	19/12期	20/12期	前年 同期比	21/3期 計画
連結非金利業務利益	124	133	8	191
A. 法人役務関連	17	16	▲ 1	34
シ・ローン	3	2	▲ 1	6
私募債	1	1	0	2
M & A	1	1	0	4
ビジネスマッチング	2	2	0	4
コベナント融資・短期継続融資	1	2	1	4
法人向け金融商品仲介	0	1	1	2
デリバティブ(金利・為替)	3	3	0	7
その他	1	1	0	3
B. 預かり金融資産関連	40	45	5	65
投信取扱手数料	16	17	1	27
保険販売手数料(個人)	9	8	▲ 1	14
ぐんぎん証券(個人向け)他	14	20	6	23
C. その他	67	71	4	90
団信配当金	9	17	8	17
基盤役務(内国為替、代理事務等)	63	63	0	84
ローン保証料	▲ 48	▲ 49	▲ 1	▲ 66
ぐんぎんリース	19	20	1	26
群馬信用保証	19	19	0	25
その他、連結調整	3	1	▲ 2	3

■ 連結子会社の非金利業務利益

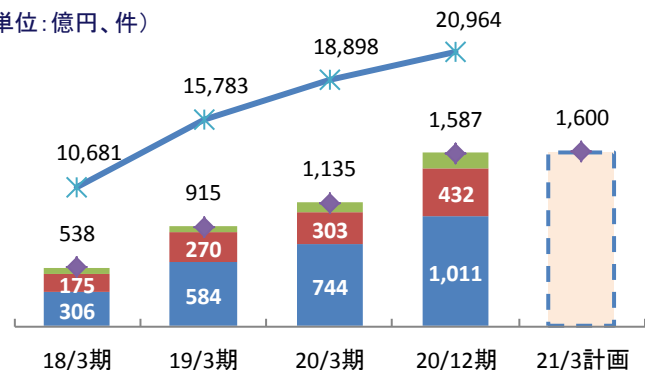
(単位:億円)



【ぐんぎん証券 預かり資産残高推移】

債券 投信 その他 残高 口座数

(単位:億円、件)

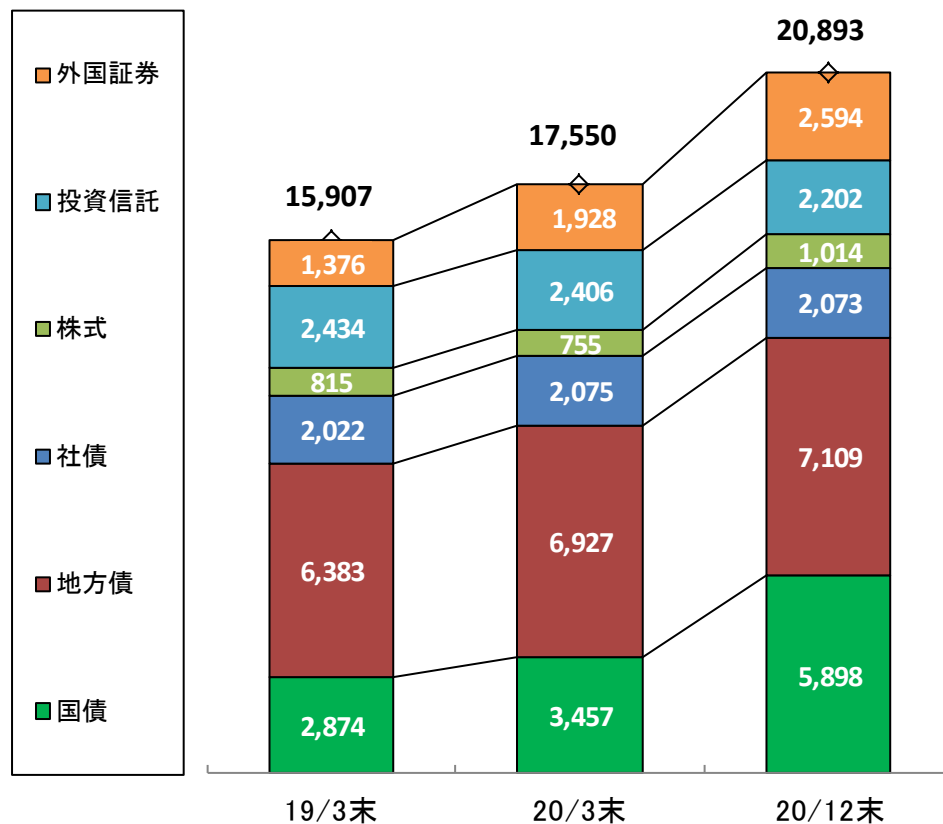


4. 有価証券の状況

投信の評価損益は改善、全体では前期末比426億円増加。

■ 有価証券末残高 (評価損益を含まないベース)

(単位: 億円)



デュレーション	(国内)	4.53年	5.66年	6.98年
	(外国)	2.92年	4.38年	3.29年
債券利回り	(国内)	0.62%	0.49%	0.27%
	(外国)	2.86%	1.91%	1.33%

■ 有価証券評価損益 (満期保有を除く)

(単位: 億円)

	19/3末	20/3末	20/12末	前期末比
外国証券	25	▲6	63	69
投資信託他	55	▲203	9	212
株式	852	570	715	145
政策投資	803	563	694	130
純投資	49	7	21	14
債券	176	78	77	▲0
国債	58	8	18	10
地方債	94	59	48	▲10
社債	23	11	10	▲1
合計	1,110	438	865	426

■ 売却損益

(単位: 億円)

	19/12期	20/12期	増減
有価証券関係損益	82	106	24
債券関係損益	33	28	▲4
株式等関係損益	49	78	29
株式等売却損益	52	78	26
政策投資	36	36	0
純投資	15	42	26
株式等償却 (▲)	2	0	▲2
投信解約損益	13	14	1
合計	95	121	25

5. 与信費用の状況

新型コロナウイルスの影響は26億円。

■ 与信費用の推移と内訳（単体）

	18/3期	19/3期	20/3期	(単位: 億円)
①与信費用	23	79	43	20/12期
一般貸倒引当金純繰入額	▲ 10	3	▲ 11	65
不良債権処理額	34	76	54	47
償却債権取立益(▲)	0	0	0	18
②貸出金(平残)	53,328	54,913	55,231	0
与信費用比率 (=①/②)	0.04	0.14	0.08	56,553
				0.15

	18/3期	19/3期	20/3期	20/12期
与信費用	23	79	43	65
引当率変動要因	▲ 9	4	▲ 5	▲ 2
その他の要因	32	75	48	67
DCF	▲ 3	▲ 3	▲ 14	33
ランクダウン	49	97	90	48
回収・ランクアップ他	▲ 14	▲ 19	▲ 28	▲ 14

■ 貸倒引当金の引当率

	引当対象	期間	18/3期	19/3期	20/3期	20/12期	(単位: %)
正常先	債権全額	1年	0.044	0.070	0.071	0.071	
その他 要注意先	実抜計画先 でない先	区分1	3年	1.038	0.992	0.957	0.947
	実抜計画先	区分2	3年	7.200	6.664	6.271	6.127
要管理先							
破綻懸念先Ⅲ分類	非保全額	3年	37.470	34.668	32.950	32.275	

■ 要因分析

	(単位: 億円)
一般貸倒引当金	47
コロナ(ランクダウン)	① 14
その他	33
うちDCF	② 33
うち賃貸不動産	③ 3
不良債権処理額	18
コロナ	12
突発破綻	11
破懸約弁減少	1
ランクダウン	20
回収ランクアップ他	▲ 14
与信費用	65
うちコロナ	④ 26

・与信費用は65億円
(1Q:54億円、2Q:5億円、3Q:6億円)

① 資金繰り支援(条件変更)は14億円
(1Q:7億円、2Q:3億円、3Q:4億円)

② DCFは大口先の影響が主因。

③ 延滞等はないが予防的に引当を実施。

④ 3Qまでの新型コロナウイルスの影響は計26億円。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、
リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる
可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問合せ先

株式会社群馬銀行 総合企画部 経営管理室(IR担当)

TEL 027-254-7055、7051、3811

(注) 本資料に記載の残高は 原則 表示未満切捨、増減率は 四捨五入しております。